



ま ちかど インタビュー

今後さらなる 子育て支援の推進を

4月から、中学校入学前（満12歳）までの乳幼児および児童については、国民健康保険の加入者のもとより、社会保険や健康保険組合等も含め、医療機関での窓口負担が無料になります。

これは、広野町独自の子育て支援として、これまでの小学校入学前（満6歳）から対象年齢を6歳引き上げるものですが、これにもない、子育て世帯の経済的負担の軽減もはかられます。

そこで今回は、新たに対象となる小学生の子どもを持つ方にご意見を伺いました。



田村 清枝さん
上浅見川・大谷内

現在、私は3人の子育ての真最中です。今は上の2人も大きくなり、病院へ行くことも少なくなりましたが、小さい時は医療費だけでも大変でした。せめて小学校まで医療費を負担していただけないものかと常々考えておりました。

しかし、町の財政などを考えると難しいのではと思っていた矢先、この様なことが決まり、私のように考えている人たちにとっては、大変うれしいことだと思

います。

今後、少子化の歯止めになってくれることを期待しております。



松本 則子さん
下北迫・新町

今まで、病院で診察を受けたときは窓口で支払をしていました。そして、診察を受けた病院ごとに1ヶ月分ずつ書類を書いてもらい申請しなければなりませんでした。また、払い戻しには2〜3ヶ月

かかりました。小さい子どもを抱え、何度も病院へ行かなければならないのは大変なことでした。

今後、窓口での負担が無料となれば経済的な負担が軽減され、書類を申請する手間が省けるのではないかと思います。



鈴木 睦代さん・花萌ちゃん
折木・大田川

子どもが小さいうちは、何かと通院する機会が多く、うちの子供たちもそれぞれに風邪をひけば受診、鼻水がいつまでも止まらないと思えば副鼻腔炎を起こして中耳炎と言われ耳鼻科通い。その他、学校の健診で「う歯」、「近視」の指摘を受ければ、歯科、眼科と、常にお医者様に頼らなければならぬ状況を繰り返し成長しています。

そんな私たちにとっては、とても朗報です。感謝感激の中、今後もさらに子育て支援計画が推進されますよう期待します。

編集後記

今年には議会議員の改選が4月に実施されます。

4年に一度の選挙であり、有権者にとっても、議員にとっても大事なものです。

町の良し悪しは、「民意」がいかに反映されるかで決まると言っても過言ではありません。

また、選挙によって町民の意識「民度」が試されます。

「民度」が高ければ「民意」をおろそかにすることはできません。

まちづくりの基本は、「民意の反映」であり、それが政治の原点であります。

議員も自己研鑽に努め、「子孫に誇れる」まちづくりのため、さらに努力する決意でありますので、「意見・要望」をくださるようお願いいたします。（中津）

広報委員会

- 議長 坂本 紀一
- 委員長 猪狩 新一郎
- 副委員長 塩 史子
- 委員 中津 伸一
- 委員 渡邊 正俊

次の定例会は3月です

